

入院と面会制限 2025.3

面会は、入院患者にとって、親しく接していた人と会うことで孤立感や孤独感の軽減、精神的な安定をもたらし、患者の治療意欲を高める効果も期待できます。



そのような中で、多くの病院では様々な理由で入院患者との面会が制限されています。面会制限の方法には、面会禁止、予約制、時間制限、人数制限、面会者の健康チェック、感染対策、特別な事情の場合の面会制限緩和などがあります

面会制限の主な理由は、感染症のリスクを最小限に抑えるためですが、平時でも面会時間の制限が行われています。

これは入院患者の診療、安静時間の保持のための時間を面会によって妨げられないようにするためです。また病院によっては、入院患者に接見するにあたり面会者の健康状態を確認したり、入院患者が不利益を被らないよう必要な対策を講じるために多くの時間をかけることが困難なことも理由となっています。

新型コロナ感染症が蔓延していた初期のころは、疾病の臨床経過が不明瞭であったため面会禁止の処置がとられたり、臨終にも立ち会えないといった事態もおこっていました。最近では個々の病状を考慮し、一律に面会制限を設けることはなくなってきています。

現在多くの病院では、面会者が病原ウイルスなどを持ち込まないために、感染症の有無のチェック、マスクの着用、手指消毒の徹底、人数制限、時間制限などの対策を取ったうえで面会が許可されています。一部の病院では、オンライン面会を提供しているところもあります。

患者が家族や知人と会う権利を重視して面会制限は全面的になくすべきだという意見もあります。しかし、症状が現れない時期から感染の危険性をもっている感染症もあって、院内感染が発生した時、患者や病院に大きな負担となり、また、その責任が病院側に課せられることから考えても面会に際して何らかの制限を設けることは必要でしょう。

金山病院では平時の面会制限とともに感染症の発生の程度に応じた感染対策としての面会制限を行っています。詳細は病院にお問い合わせください。

下呂市立金山病院 顧問 古田智彦